



きらい★きくにし

文責 校長 佐藤 正貴

授業参観・懇談会へのご参加、ありがとうございました。



前日は、3年に1度の総合訪問があり、菊池教育事務所、菊陽町教育委員会、管内の学校からの協力者をお招きして、児童の様子等を見ていただきました。落ち着いて授業に向かう児童の姿や、学ぶための環境が整っているとの評価をいただきました。参観の日の子どもたちの様子は

如何だったでしょうか。家族の前で張り切って頑張る子どももいれば、家族に見られていることで、どこか落ち着かない様子もあったと思います。そんな中で、授業参観の時だけでなく、毎日の授業で、自分が何をすべきなのか、どう行動すればいいのか考えて過ごす児童が、学年があがるごとに増えてきています。子どもたちの日々の取組は、自分自身の将来につながる道を増やすことになるはずです。

不審者対応避難訓練



7月8日に大津警察署：國武さんのご協力のもと、不審者対応避難訓練を行いました。今から25年前の池田小の事件をきっかけに、不審者に対応するための危機管理が見直されました。本校でも、前回の反省を活かしながら、毎年訓練を実施することで、対応をバージョンアップしています。

この不審者対応避難訓練は、火災や地震とは違い、教職員の対応力を向上させるための訓練です。職員は、児童の命と自分自身の命を同時に守らなければなりません。不審者であると判断した場合は、迷わず各自が学校全体に周知できるようにしておくこと、校内での役割に従って、不審者に対応する職員が、素早く集合できるようにしておくことが必要です。

今回の訓練では、全体周知から職員集合までは短時間で出来ていました。ただし、これは訓練だからできているということです。これからも実際に同じように動くことができるようになるために、定期的に繰り返していきます。

あわや・・・

もうすぐ夏休みです。楽しい時間がたくさん控えていることでしょう。この楽しい時間や充実した時間を過ごすために必要な事があります。それは「生きている」ということです。交通事故や水難事故など、毎日ニュースで報道されています。事故の結果、残念ながら命を落としてしまうこともあります。そんな事故は、いつも自分の暮らしの近くに潜んでいるという自覚を持ってほしいと思っています。

7月に入って複数回、赤信号で横断歩道を渡るという事案が、本校で発生しております。また、車道の信号が赤に変わってからすぐに渡ろうとした事案もありました。これらの事案は、どれもすれすれのところで大事故になることを免れています。あと一歩違っていたら、あとコンマ何秒か違っていたら、今、無事ではいられなかったであろうということです。

先日、全校集会を行い、このことについて話をしました。青信号でも必ず自分の目で確かめる事、道路を利用するのは自分たちだけではない事を含めて、交通ルールを守る事は、自分で自分の命を守るために必要だということを伝えました。また、私が以前担任をしていた児童が、菊陽バイパスを横断中に、車に跳ねられた話もしました。自転車で自宅に帰る途中、信号が青に変わったので渡っていたところ、信号無視の車に跳ねられてしまいました。私は、救急搬送されたことを聞いて、急いで病院に向かいました。幸いヘルメットを着用していたことで、軽いけがで済みました。病院の先生からは、「もしヘルメットがなかったら、今頃命はありませんでした。」ということをお伝えされました。車の方は、夕方の逆光で信号が見えなかったと言われていることを警察の方から伺いました。

ルールを守りながらも、最終的に安全を確保するのは自分自身です。そうしたことを踏まえて、ご家庭でもお子様に話をさせていただけるとありがたいです。